

住まい手へとつながる、環境への「想い」。



グランドメゾン伊丹池尻 リテラシティ/エントランスホールの外に広がるアクアガーデン。水辺に設けた「バードバス」が、野鳥と人との自然な関係を結びます。



グランドメゾン西九条B10 / 小さな生態系を育む敷地内のビオトープは、住まい手へ一番身近な自然となります。

樹々や花々に移ろう四季の彩り、小鳥たちのさえずり：子どもたちにもいつまでも伝え残していきたい豊かな自然環境。しかし、今、この豊かさが損なわれかけています。

生態系の保全や、環境負荷低減への関心が高まり、環境を守るためにさまざまな取り組みが行われていますが、そこには暮らしの快適さを「我慢する」イメージがあるのではないのでしょうか。

長年にわたり心地よい暮らしをお届けしてきたグランドメゾンでは、環境保全を意識した仕様であればあるほど、より快適で健康な「住み心地のよさ」を実感していただかなければと考えています。住み心地を楽しみ、この環境が好きだから大事にしたい」と思ってくださいることが、建物と暮らしの、さらなる環境保全につながっていく。エコファースト企業として、積水ハウス、そしてグランドメゾンは、住まい手と自然環境を見つめ、さまざまな計画を試み、進めています。

ProjectMember 大阪マンション事業部



営業担当 店長 宅地建物取引士 萬年 優



営業担当 宅地建物取引士 宮崎 大介



設計担当 課長 一級建築士 西村 等



建築担当 課長代理 一級建築士 内藤 淳

普段の暮らしの中で、無理なくCO₂を削減。

「環境負荷低減」を目指し、まず取り組まなければならないのはCO₂削減です。省エネ設備の採用は、その方法のひとつ。「エネルギーロスを抑えた高効率給湯器^{※1}や、白熱灯を蛍光灯やLED（下図参照）に変えるといった方法があります。また、保温浴槽^{※2}も効果的です」（内藤）

設備面だけでなく、建物の造り方によっても省エネが図れます。「断熱効果を高くすれば、室内が外気温の影響を受けにくくなり、冷暖房効率が上がります」（西村）
「CO₂削減」というと、生活上の我慢をイメージしがちですが、建物の設備や設計を工夫することによって、快適性を保ちながらCO₂削減が図れます。グランドメゾンでは、2000年より独自の環境目標を設定し、省エネ効果の高い仕様の採用に努めてきました。断熱効果の高い仕様として住宅性能表示制度による省エネルギー対策等級4（最高ランク）仕様^{※3}を、2009年竣工物件の90%以上が取得しています。

「好きだから守りたい」という想いが芽生える暮らしへの仕掛けづくり。

しかし、「建物がCO₂を削減してくれる」だけで、それでよいのでしょうか？

「今、環境、環境と言われるのは人間の都合ばかり優先し続けてきた結果、地球が悲鳴をあげているので、ここで方向転換しないと大変なことになる」ということですね。私たちの生活も環境を意識したものに変えていかなければ……」（萬年）

実際に、設備の省エネ化以上に、使用される方が設備機器をできるだけスイッチオフすれば、もともとCO₂は削減できます。「でも、それを「我慢すること」と捉えようと、とても苦しくて長続きしません。もともと身近に、地球に生きる動植物、日本の四季が好きだから守りたい、次の世代へ伝えたい」と感じられれば、我慢や負担と考えるに環境を意識した生活ができるのではないのでしょうか。（内藤）

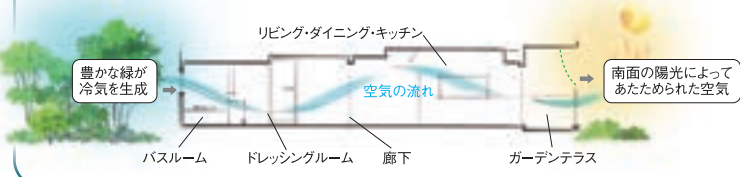
ただ、それはあくまでも住み手の皆様に、自発的に意識していただくこと。「私たちは、お客様に押し付けることはできません。しかし、そのような気持ちを引き出す「仕掛け」をつくりたいんです。敷地内に、その地域の気候や風土、生態系にもとづいた自然環境をつくり、子どもたちが遊び、親が見守るシーンを提供できれば、自然を大切にしたい」という想いが芽生えてくるのではないのでしょうか」（萬年）

「立地にもよりますが、適切な位置に窓がある風通しのよい間取りであれば、夏でもエアコンを使わずに、気持ちがいいから窓を開けよう」と思っていただけです」（内藤）
「環境問題」を語るとき、環境負担低減や自然環境保全がよく言われますが、それを



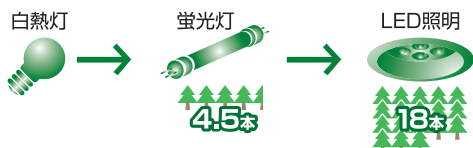
グランドメゾン大濠テラス

北側に豊かな植栽を設けた敷地レイアウトを採用。緑の冷気生成によって発生する風が、適切な位置に窓をつくることで、室内を通して南側へ流れる仕組みです。エアコンレスを目指して、風の流れをデザインした環境設計となっています。



グランドメゾン城西三丁目

LED照明を、共用部の照明として採用しています。



LED照明とは、発光ダイオードという半導体を利用した照明器具のことです。省電力、長寿命なのでCO₂排出量を抑制でき、有害な水銀も不要ことから、環境に優しい照明として注目を集めています。

※木のイラストは、CO₂排出量削減効果をイメージ化したものです。また、各機器ともメーカーや使用条件によって効果は異なります。

※1) 高効率給湯器 / 従来の一般的な給湯器と比べ、熱効率を高めることで、より少ないガスでお湯を沸かすことができる給湯器。
 ※2) 保温浴槽 / 浴槽や風呂ふたに保温材を使用し、浴槽の断熱性能を高めてお湯を冷めにくくした。追い焚き回数を減らせる効果がある。
 ※3) 省エネルギー対策等級4仕様 / 省エネルギー対策等級とは、国が定める「住宅性能表示制度」にもとづく、10の性能表示項目の1つ。冷暖房時に使用するエネルギーを削減するための断熱性能を示す。



グランドメゾン伊丹池尻リテラシティ / 地域の自然をお手本とした森には、周辺の鳥が遊びにやってきます。

すすめるために、親自然（自然とふれあうこと）が大切だと考えています。もちろん自然破壊につながるような間違った親しみ方ではないかもしれませんが、摘み取ったり傷めたりするのはない、正しいふれあいは、自然を大切にすることを育み、環境負荷低減の意識を高めることへとつながっていくのです。

住まい手と自然との関わりをプロデュース。

グランドメゾンの計画地には、豊かな自然が残されている場合と、そうでない場合があります。

「大阪の都心に計画したグランドメゾン（以下GM）西九条BIOは、敷地にも周辺にも緑が少なくない環境でした。だからこそ、ここは緑いっぱいにしたかった」（万年）

「子どもたちが以上に楽しんでいたのはパパやママたち。子どもの頃の豊かだった自然を思い出して懐かしいて」（内藤）

「子どもたちが、あ、緑のドンクリだ、つてびっくりしているんです。茶色くなって地面に落ちていくドンクリは知っているけど、樹に生っている状態のドンクリは見たことがなかったんですよ」（宮崎）

また、もともとあった自然を活かしたGM東戸塚では、住まい手の目線から、ここに暮らすことの豊かさを考え、敷地内にログハウスを用意。どこかの森をハイキングするように楽しみながら、自然を大切にす



野原ビオトープ 菜園ガーデン 花の広場

グランドメゾン伊丹池尻 リテラシティ

付近に大きな道路があることに配慮し、敷地内に子どもが自然とふれあえるスペースを計画。駐車場の屋上部分が「菜園ガーデン」などになっています。



自分で育てる 菜園ガーデン

自分の手で育てることや、収穫するよるこびを気軽に感じられる菜園スペースです。身近だからこそ、日々成長を見守ることができ、「大切にしたい」という感情を育むことにつながります。



時間とともに豊かさを深めていく緑

敷地内を緑で満たしている樹々や花たちは、住まい手とともに時を重ねて、豊かさを深めていきます。数年後、数十年後も、美しく住まい手の暮らしを見守り続けます。



グランドメゾン東戸塚 / もともとあった自然を活かしながら、里山の風景を再生。豊かな自然を満喫できるログハウスや散策路を敷地内に。

グランドメゾン 西九条BIO



森に囲まれた キッズルーム

敷地の中央に配したビオトープのすぐそばに、キッズルームをレイアウト。樹々やせせらぎが描く風景を身近に感じながら、遊ぶことができる空間となっています。



自然の生態系が生まれる ビオトープ

敷地の中央に、せせらぎのあるビオトープをレイアウト。在来種の魚を放流するなどし、水辺の生態系を育みます。子どもたちが観察を通して、自然を楽しみ、親しむ場にもなっています。



敷地内の森は、里山 がお手本

森に植えているのは、地域の気候や風土に合わせた樹種や花たち。四季とともに彩りがうつろい、周辺の鳥や蝶が遊びに来る自然環境が育まれています。



暮らしの中で、緑を感じられる環境

エントランスホールの大きな窓からも、ビオトープを眺められるよう計画しました。お出かけのときも、帰宅されたときも、いつも緑の風景が目を楽しめます。

風を感じる時間があるということが大切です。」（万年）

自然と親しみ、学べる場をマンション内に。

「GM伊丹池尻リテラシティの近くには幹線道路が通っており、子どもたちが遊ぶには、自動車などに気をつけなければなりません。そこで、子どもたちがのびのびと緑に触れながら安全に遊びまわれる仕掛けを、マンションの敷地内に用意しようと思いましたが」（宮崎）

敷地内を里山^{※5}の緑でいっぱいにするともに、通常は使われることのない駐車場の屋上に、花の広場^{※4}、野原ビオトープ^{※4}、菜園ガーデン^{※4}を計画。

「菜園ガーデンでは、土にさわったことの無いような子どもたちが、ジャガイモ掘りのイベントにおおはしゃぎでられるのは住まい手。そして敷地にいくらか緑を植えても、その成長を見守るのは、住まい手の皆様なのです。」（宮崎）

環境への取り組みは、作り手から住まい手へ、なめらかにつながっていかなければならないもの。

「住まい」は、建物の完成がゴールではなくて、住まわられてからがスタート。住まいとともに、わたしたちの環境への想いを確実にお客様へと引き渡し、その想いを暮らしの中で育てていただく、そこに意味があるのです」（内藤）

ますます高まる世界規模での環境への取り組みを背景に、環境に関する技術は日々進歩しています。グランドメゾンは、それらを取り入れていきながら、緑に囲まれた心地よい住環境の中で、自然を大切にしたい、と想う心が育まれていく空間づくりに、これからも取り組んでまいります。

※4) 5本の樹 / 3本は鳥のために、2本は蝶のために、地域と調和する5本の樹を選び、それらを中心に植栽・外構を計画する取り組み。
 ※5) 里山 / 薪や肥料などの採取地となってきた雑木林をはじめ、それとつながる田んぼや畑、小川など、人の暮らしと関わりが深い身近な自然のこと。